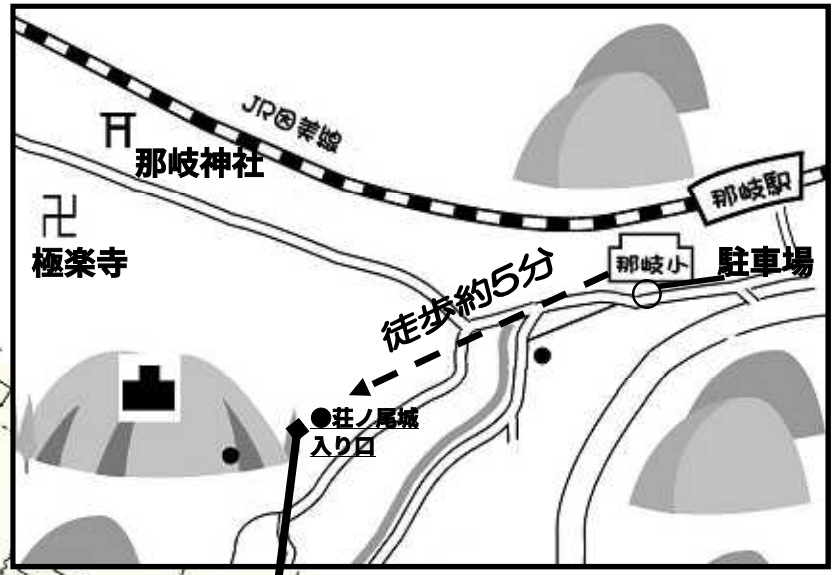
荘ノ尾城（シャウノオ）散策マップ

今から約７００年前、農民が野党の襲来に備え、城を整備し「侍」を雇ったという史実が残る那岐地区の早野（わさの）集落。その城跡と考えられる「荘ノ尾城」は地元の方の手によって、散策ルートの整備や説明版・標柱の設置、当時の柵や堀切を復元していますので是非ご散策下さい。



城　　名；荘ノ尾城（シャウノオジョウ）

標　　高；約380m（比高差約40m）

構築時期；南北朝期

（解　説）

★荘ノ尾城の曲輪（くるわ）は、それぞれが連結した「連郭式（れんかくしき）」を呈する。曲輪は小規模で、段差も緩やかなことから南北朝期に構築されたものと考えられる。

★江戸時代の文献『因幡誌』は荘ノ尾城について「口早野村にあり。子細は知れず。シャウノ尾の文字分明ならず。」と書かれており、そのころには城の伝承は失われていたようである。

また、「広戸の端城」とも書かれており、城の構築には現在の奈義町広戸との関わりが推測される。その時期はまさに「智頭町古文書」にある農民が城を修理し、侍を雇った時期と一致する。